



Kanuka Cafe (たつの市) with アキノイサム ギャラリー

スペース・店・講座・印刷物等々人のエネルギーが集まる「場」の紹介コーナー

ショップ側から見たカフェスペース。藤いすやソファもあってまったりできそうだし

Kanuka Cafe かぬかカフェ
兵庫県たつの市龍野町旭町26
0791-78-9680
Email: kanuka.tatsuno@gmail.com
営業: 11時~16時 月・火定休
近くに公営の無料駐車場有り

兵庫県西部にあるたつの市は、龍野城跡がある城下町の街並みに醤油蔵や武家屋敷が点在しており、観光客が来たり若い世代の移住者もいてマルシェなどが定期的に開かれて賑わっている、古くて新しい街だ。その静かな城下町の一角にある一軒家で、故アキノイサムさんの娘のかぬかさんがカフェ兼



ギャラリーを開くというので、1月末にまだ工事中のお店を訪ねていき、話をきかせてもらった。

その日は電気工事の人が来ていたが、すでにカフェスペースはほぼ完成状態で、壁には10枚以上のイサムさんの絵が掛けられ、ポストカードもたくさん並んでいた。窓が広いので明るくて風通しのいい広々とした部屋にはソファやテーブルがいくつも置かれ、大きな本棚には子ども向けの本から美術書、その他専門的な本などもたくさん並べられており、

ブックカフェ風にゆっくり本を読むこともできそう。ショップスペースはまだカウンターがついていなかったが、棚にはいろんな自然食品などが並べられていた。

かぬかさんはイサムさんの長女で、おばさんから引き継いだ自然食の通信販売の仕事をしているが、実際のお店を持ちたいということと、これまで上郡町のアキノイサムギャラリー(イサムさんが亡くなるまで住んでいた家の蔵

を改造)で年に一度展覧会を開いているので絵が見れるのだが、常時イサムさんの絵を見せられる場所が欲しかったこともありOPENすることにしたという。

かぬかさんがこの家に出会ったのは1年ほど前。築40年くらいの2階建てで離れや中庭もある家を格安で手に入れたそう。それからはバイトを増やし、リフォームも同時に進めてきた。壁を自分で塗ったり床をはったり、自分でできないところは大工さんにも頼んだ。また大阪の「若松」からもらった銅製のシンクをお店のキッチンに使うことにしたり、大きな本棚など家具類はほとんどもらいものだという。

お店は人を雇うのはたいへんなので、週休も2日とるなど、一人でやれる範囲で無理なくやっていくつもりとのこと。

カフェでは軽いランチも出したいらしいが、最初は無理せず飲み物からで、徐々にメニューを増やしていけたらとのこと。コーヒーはふだんから自分で飲んでいるカ



フェマヤのフェアトレードのコーヒーを七輪で自家焙煎して出すそうで、我ながら美味しいと自慢する。その他、ショップでも販売するハーブティなども出す予定。

またオーガニック食品のほかには以前住んでいた沖縄の雑貨や友だちのガラス作家がつくった吹きガラスの作品=カップ、ぐい呑、ランプシェードなどが並び、名前のない新聞も！それにイサムさんの版画や絵の展示・販売もするほか、イベント:講座、お茶会、ヒーリングなどもやっていきたいとのことだ。

Kanuka Cafeのオープンが3.15の予定。その日はマヤ暦の赤い太陽の空歩く者の日。目覚め、空間、探るを意味する日だそう。龍野に行くついでのある人や、イサムさんの絵を生で見たい人はぜひKanuka Cafeによって美味しいコーヒーを飲みながらまったりしてみたらどうだろうか。イサムさんの絵は年に何回か入れ替える予定だそう。

*なお上郡の自宅裏のギャラリーで年に一度開かれるアキノイサム展は、今年はゴールデンウィークの間に開催予定で、5月4.5.6日11.12日の予定。アキノイサム展2019の問い合わせ先は0791-55-0557まで。

↑かぬかさん。右手にオーガニック食品などのショップスペースがある。

